



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.com
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 目 1 第 41 回通常総会を開催 | 4 会議・イベント等 |
| 2 木産協 40 周年記念式典を挙げる! | 5 4 月期住宅着工状況 |
| 次 3 木材利用ポイントの状況 (4 月期等) | |



1 第 41 回通常総会を開催!!

5 月 20 日、ホテルメトロポリタン山形会議室において、飛山龍一林野庁東北森林管理局長、若松正俊山形県農林水産部長、島田泰助全木連副会長等多数の御来賓のご臨席を仰ぎ、木産協第 41 回通常総会が開催された。総会には組合員 60 名が出席し (委任状 85 名)、平成 26 年度事業報告及び平成 27 年度事業計画並びに収支予算案の審議のほか、任期満了に伴う役員改選や木産協政治連盟総会も同時開催された。



(新三役の挨拶状況)

(1) 総会の状況

総会では、議長に會田悦陸理事を選出し、活発な議論が展開され、執行部より提案された、地域材需要拡大の普及啓発や共同販売事業の取り組み計画等について、全て原案通り承認された。総会での主な意見は次のとおり。



(総会の状況)

ア 県施設に対する共同納材について (石川敏雄氏質問)

沖田純夫理事長答弁：広域行政当局に対する納材については、県レベルの団体で対応する必要があると考えている。木産協の組織体制等の課題もあり、実体の把握や時間をかけて県当局に提案できる内容を検討していきたい等。

イ 公共建築物の木造化に関する条例の制定要望について (下山邦彦氏質問)

阿部昭副理事長答弁：他県でも条例化を行っているところがあり大切な課題と考えている。「条例化」には業界内部の盛り上がりや県民の皆様方への浸透が不可欠であり、大きな動きを作り出すことが必要と考えている。地域組合にあっても市町村レベルの条例化も考えられ、各地域でも積極的な要望活動を行なって欲しい。木産協としても役員会等で情報収集や学習会等を行っていききたい等。

ウ 木質バイオマス発電等への低質材の利活用について (遠田勝一氏質問)

専務理事答弁：県内では発電所設置計画が数ヶ所あり、木質バイオマスの集荷体制がカギとなる。木産協としては、組合員の要望を踏まえて、県等の助成事業を対応させていきたい。また、発電は膨大な木質バイオマスを消費することから、県内の木質バイオマス発電所の適正な配置等については、行政側の指導が必要と考えている等。

(2) 役員の変更

3 期 6 年を務めた沖田理事長が勇退する中で、任期満了に伴う役員の変更が行われ、選考委員による役員の名指と、就任した理事の互選による三役が決定した。

	役職名	氏名(敬称略)	会社名等	役員継新	摘要
1	理事長	阿部 昭	(株)阿部製材所	継続	庄内飽海ブロック
2	副理事長	松田 賢	(株)スペースパーツ山形	〃	村山中部ブロック
3	〃	會田悦陸	(有)アイタ材木店	〃	村山南部ブロック
4	〃	相田吉則	(株)アイタ工業	〃	置賜ブロック
5	〃	遠田勝一	(有)遠田林産	新任	庄内飽海ブロック
6	専務理事	大隅尚行	員外	継続	
7	理事	相原吉弘	相原木材(株)	〃	村山南部ブロック
8	〃	安部雄祐	(株)山形城南木材市場	〃	〃
9	〃	佐藤安広	(株)佐藤製材所	〃	村山西部ブロック
10	〃	下山邦彦	(株)下山製材	〃	最上ブロック
11	〃	佐藤久一	安楽城林産(株)	〃	〃
12	〃	小関一也	(有)小関興業	〃	〃
13	〃	石川敏雄	(株)石川製材所	〃	村山北部ブロック
14	〃	岩浪智春	(株)岩浪木材センター	〃	庄内田川ブロック
15	〃	土田昌広	(株)土田材木店	新任	村山南部ブロック
16	〃	漆山忠作	(有)漆山製材	〃	〃
17	〃	上妻嘉光	上妻林業	〃	〃
18	〃	後藤 明	丸北木材工業(株)	〃	村山中部ブロック
19	〃	宇佐美洋一	(有)宇佐美製材所	〃	置賜ブロック
20	〃	沖田洋元	(株)沖田木材産業	〃	〃
21	〃	柴田 廣	(株)酒田木材市場	継続	庄内飽海ブロック
22	〃	鈴木隆一	鈴木製材所	新任	村山西部ブロック
23	顧問	沖田純夫			(前理事長)

※ 三役のご挨拶については、7 月号に掲載致します。

2 木産協40周年記念式典を挙行

総会に引き続き、木産協創設 40 周年記念式典が挙行された。沖田理事長から、これまでの木産協の歴史を支えていただいた、関係行政機関、関係団体等への御礼と、今後の、木産協の取り組み方向等について式辞を述べた。

続いて、行われた功労者に対する表彰では、県知事賞は若松正俊 県農林水産部長、理事長賞は沖田理事長より授与された。

受賞者を代表して、田嶋誠氏が謝辞を述べた。受賞者のお名前と主な功績については次のとおり。



(式辞を述べる沖田理事長)



(右写真 整列する受賞者)

○知事感謝状受章者

氏名 (敬称略)	主 な 功 績
とがし よういち 富樫 洋一	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年の、地域材の利活用促進のための人工乾燥処理施設 (木質バイオマスボイラー使用) である、協同組合やまがたの木乾燥センターの設立に発起人代表として尽力。センター理事長を 3 年務め、地域関連産業の発展に貢献。 建築技術者、特に大工技能者の育成指導に長年尽力し、組合の振興発展への貢献。
しばた ひろし 柴田 廣	<ul style="list-style-type: none"> 10 年にわたり酒田飽海支部監事を務め、組合運営の適正化に貢献 地域農林業イベントにおいて子供達や一般市民への木質、木製品の普及に貢献 地域公共建築物の木造化、木質化について、関係首長への要望等を積極的に展開
さとう よしのぶ 佐藤 吉信	<ul style="list-style-type: none"> 山形木材業組合長として市への要請活動の先頭に立ち、新たに市立南沼住宅団地 (アパート内装木質化) 等の、地域材を活用した公共居住施設への木造・木質化も実現する等地域木材業界の振興に貢献。平成 21 年から山形市森林整備推進協議会委員に就任し、地域木材産業の振興のみならず地域森林資源の整備・活用について尽力。
あいた よしみつ 會田 悦陸	<ul style="list-style-type: none"> 公共建築物に対する地域材製品の納材方式を確立し、飯塚公民館や市立五中学校等の公民館や学校関係の大部分に納材する等、地域材の需要拡大とこれらを通じた地域経済の活性化に貢献。労働災害防止協会役員として事業所を巡回して指導。
まつだき みお 松田喜美男	<ul style="list-style-type: none"> 7 年にわたり木産協監事を務め、組合運営の適正化に貢献。 「山形県林業まつり」に地域材を多用する住宅建築部門として率先して出展参加。
たじま まこと 田嶋 誠	<ul style="list-style-type: none"> 16 年にわたり県木産協の理事を務め、組合発展に貢献。 新規職員を積極的に採用するなど若者層の就労の場の創出に尽力。
おがた みのる 尾形 稔	<ul style="list-style-type: none"> 10 年にわたり酒田飽海支部理事・副支部長を務め、地域業界の発展に貢献。 庄内職業高等専門学校非常勤講師として、木造建築設計教育を担い多くの若者を育成。
はせがわ しげる 長谷川 茂	<ul style="list-style-type: none"> 10 年にわたり酒田飽海支部監事を務め、地域業界の発展に貢献。 共同納材等における調整や若手技術者の育成に努める等地域業界の活性化に貢献。

○ 木産協理事長賞受賞者

氏名 (敬称略)	事 業 所 名	勤 続 年 数 等
あかね やまおる 茜谷 衛	(株)茜谷商店木材部	10 年にわたり酒田飽海支部役員を務め業界の発展に貢献
ししど いちろう 宍戸 一朗	(株)沖田木材産業	39 年にわたり業界の発展に貢献
せいの あきこ 情野 明子	(株)アイタ工業	37 年にわたり業界の発展に貢献
むらかみ まさき 村上 正記	(株)やまがた中央木材市場	35 年にわたり業界の発展に貢献
にしづか かつや 西塚 勝也	(株)スペースパーツ山形	19 年にわたり業界の発展に貢献

○ 記念講演会

木産協創設 40 周年記念の取り組みとして、昨年 8 月に、金山町で開催された全国植樹祭に対する特別協賛事業を実施した他、本式典では、記念講演会を開催し業界を取り巻く状況や今後の取組方向等についての認識の向上を図った。

講師は、全木連副会長の島田泰助氏で、演題は「ウッドファースト社会の実現に向けて」であり、林野庁長官時代に「公共建築物木材利用促進法」や「森林・林業再生プラン」等で、日本林業・木材産業の再興に尽力すると共に、現在、都市部での木造化の推進等に積極的に取り組む姿勢に、参加組合員は大きな感銘を受けた。



(熱弁をふるう島田全木連副会長)

4 木材利用ポイントの状況(4 月期)

(1) 発行申請受付終了について

平成 25 年 4 月からスタートした、木材利用ポイント事業は、5 月 20 日、全国事務局受付分をもって終了しました。以降の申請はポイント発行の対象とはなりませんのでご承知願います。組合員の皆様のご協力誠に有り難うございました。

(2) 交換対象商品への交換期限について

発行済の木材利用ポイントの対象商品・寄付への交換期限は、平成 27 年 10 月 31 日(土)(当日消印有効)までとなっています。期限を過ぎるとお手持ちのポイントが残っていても、対象商品等に交換できなくなりますので、関係者に周知願います。

(3) 4 月期までのポイント交付状況について

全国的状況については下表のとおりです。5 月期が判明した段階で最終の交付ポイント数及び県別の順位等も確定する。

本県は被災地でなくポイント点数にハンディがあったが、交付率等で上位に食い込むことができ、取り組み方次第では、地方にあっても、一定の結果を残すことができることを証明したものと考えている。

この事業では、事業体毎に取り組みに濃淡はあったと思われるが、関係業界との連携強化や地域材の利用拡大に向けた様々な取り組みも実施しており、今後は、これらを契機に、さらに県民の皆様への普及啓発を目的とした新事業等を活用しながら、一層の浸透を図る必要がある。

ア 新設戸数に対する交付割合順位

順位	県名	新設戸数 注 1)	A+C 交付件数	交付割合
1	熊本	5,320	4,101	77.09
2	宮崎	4,064	3,005	73.94
3	佐賀	2,747	1,698	61.81
4	沖縄	510	306	60.00
5	大分	2,941	1,562	53.11
6	鹿児島	6,141	3,257	53.04
7	長崎	3,202	1,657	51.75
8	福岡	13,158	6,767	51.43
9	山形	3,460	1,691	48.87
11	宮城	9,335	4,445	47.62
15	福島	7,864	3,087	39.25
19	秋田	3,204	1,154	36.02
22	岩手	4,364	1,442	33.04

イ 県民一人当たりの交付ポイント順位

順位	県名	新設戸数 注 1)	A+C 交付件数	交付割合
1	熊本	5,320	4,101	77.09
2	宮崎	4,064	3,005	73.94
3	佐賀	2,747	1,698	61.81
4	沖縄	510	306	60.00
5	大分	2,941	1,562	53.11
6	鹿児島	6,141	3,257	53.04
7	長崎	3,202	1,657	51.75
8	福岡	13,158	6,767	51.43
9	山形	3,460	1,691	48.87
11	宮城	9,335	4,445	47.62
15	福島	7,864	3,087	39.25
19	秋田	3,204	1,154	36.02
22	岩手	4,364	1,442	33.04

注 1) 国交省資料：該当期間中の木造住宅新設戸数累計(木質プレハブ・2×4 工法含まず)

※ 7 月号で最終結果を掲載予定

5 会議・イベント等

(1) 耐震住宅博覧会への参加

7月11日(土)12日(日)に、仙台市「夢メッセ」で開催される、標記博覧会に木産協は県産木材等のPRを目的に出展します。東北一円からの出展が予想される中で、他県と対抗する必要から、本県からの出展参加について広く募集しますので、関係者のご参加をお願いいたします。参加ご希望の事業体は、木産協宛て、6月19までご連絡下さる様願います。参加料は無料です。(住宅構造躯体、木工品、木材関連商品、木工体験、PRパネル展示等)

(2) 県産木材安定供給ワーキング検討会議

6月2日(火)10時より、県庁会議室で集成材工場等への安定供給体制づくり検討のため標記協議会が開催され、木産協からは専務理事が出席する。

(3) 置賜木質バイオマス協議会

6月2日(火)15時より、置賜総合支庁西庁舎401会議室で標記協議会が開催され、木産協からは専務理事が出席する。

(4) やまがた木づかい優良住宅を創る会総会

6月5日(金)16時より、ホテルメトロポリタン山形会議室で標記総会が開催され、木産協からは来賓として専務理事が出席する。

(5) やまがた県産木材利用センター総会

6月9日(火)15時より、ホテルメトロポリタン山形会議室で、標記総会が開催され、木産協からは阿部昭理事長が出席する。

(6) 森林・木造住宅体感バスツアー

地域材への理解を深めていただくために、子育て世代を対象にした、森林、木材市場、プレカット工場、住宅建築現場等巡る、標記バスツアーを開催する。2コース実施し、定員は合わせて40名であり、先月30日に新聞広告等で周知している。先着順となりますので、周知下さる様願います。無料です。

Aコース：6月13日(土)上山市内の森林、山形市内木材市場・プレカット工場、同住宅建築現場

Bコース：6月20日(土)西川町内の森林、寒河江市内のプレカット工場、山形市の住宅建築現場

(7) 平成27年度日本木造耐火建築協会総会

6月25日(木)南陽市において標記総会が開催され、木産協からは専務理事が出席予定。

(8) 秋のイベント日程(予定)

次の日程で開催される予定ですので、スケジュールに入れておいてください。

ア 第25回山形県林業まつり：10月17～18日、山形県総合運動公園(天童市)

イ 平成27年度環境展：10月24～25日、ビッグウイング(山形市)

※トピック

懸案となっていた、県森林整備協連からの受託事務については、5月27日の整備協連総会において木産協への委託が解消されましたので報告します。整備協連の新しい専務理事には和泉誠七氏が就任しました。

6 4月期の住宅着工状況

4月期は452戸で対前年同月比105%、うち持家は302戸で112%、貸家は105戸で93%、分譲は44戸で113%、木造率94%、累計比でも109%と好調である。この中で2×4工法の伸びが高まっているのが気にかかる。

1 県内新設住宅着工戸数(平成27年4月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住	分譲住	民間	その他	戸数	木造率	在来軸	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
2月	362	166	131	23	42	360	2	275	76.0%	194	9	72
3月	295	189	91	1	14	291	4	255	86.4%	204	10	41
4月	431	270	113	9	39	400	31	406	94.2%	353	12	41
5月	349	228	88	7	26	326	23	293	84.0%	229	11	53
6月	529	291	190	0	48	515	14	415	78.4%	290	13	112
7月	364	204	124	1	35	316	48	300	82.4%	212	13	75
8月	361	223	90	3	45	357	4	305	84.5%	245	7	53
9月	377	203	127	0	47	358	19	332	88.1%	223	5	104
10月	395	199	144	3	53	384	11	353	89.4%	227	7	119
11月	465	238	179	2	46	445	20	377	81.1%	261	7	109
12月	388	183	180	0	25	382	6	326	84.0%	194	4	128
27.1月	249	125	74	0	50	248	1	203	81.5%	141	8	54
2月	367	194	124	0	49	364	3	297	80.9%	166	13	118
3月	366	278	62	1	25	363	3	343	93.7%	262	14	67
4月	452	302	105	1	44	446	6	425	94.0%	288	11	126
対前月	123.5%	108.6%	169.4%	100.0%	176.0%	122.9%	200.0%	123.9%	-	109.9%	78.6%	188.1%
対前年同月	104.9%	111.9	92.9%	11.1%	112.8%	111.5%	19.4%	104.7%	-	81.6%	91.7%	307.3%
26.1~当月	1,322	780	383	67	112	1,252	70	1,096	82.9%	871	39	186
27.1~当月	1,434	899	365	2	168	1,421	13	1,268	88.4%	857	46	365
対累計前年	108.5%	118.3%	95.3%	3.0%	150.0%	113.5%	18.6%	115.7%	-	98.4%	117.9%	196.2%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成27年4月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	452	1,434	104.9%	108.5%	1,268
山形市	112	397	106.7%	102.6%	331
上山市	8	27	114.3%	135.0%	25
天童市	25	124	100.0%	113.8%	107
山辺町	4	21	200.0%	300.0%	20
中山町	11	19	275.0%	380.0%	19
東南村山	160	588	111.9%	111.4%	502
寒河江市	27	77	192.9%	197.4%	60
河北町	6	28	120.0%	254.5%	26
西川町	0	0	-	-	0
朝日町	1	3	9.1%	25.0%	3
大江町	3	5	50.0%	55.6%	5
西村山郡	37	113	80.4%	136.1%	94
村山市	10	32	200.0%	188.2%	32
東根市	37	121	148.0%	133.0%	111
尾花沢市	3	8	100.0%	160.0%	6
大石田町	3	4	300.0%	400.0%	3
北村山	53	165	155.9%	144.7%	152
村山地域	250	866	112.1%	119.4%	748
新庄市	16	24	100.0%	104.3%	23
金山町	0	0	-	-	0
最上町	0	0	-	-	0
舟形町	3	3	300.0%	60.0%	3
真室川町	1	4	50.0%	100.0%	4

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	0	-	-	0
鮭川村	0	1	-	-	1
戸沢村	0	1	-	-	1
最上地域	20	33	95.2%	97.1%	32
米沢市	42	145	84.0%	115.1%	124
南陽市	18	44	100.0%	115.8%	43
高畠町	4	16	50.0%	69.6%	15
川西町	3	7	150.0%	175.0%	7
東南置賜	67	212	85.9%	111.0%	189
長井市	20	46	74.1%	86.8%	37
小国町	0	3	-	100.0%	3
白鷹町	2	8	100.0%	160.0%	8
飯豊町	1	2	50.0%	33.3%	2
西置賜	23	59	69.7%	88.1%	50
置賜地域	90	271	81.1%	105.0%	239
鶴岡市	53	124	135.9%	87.3%	120
三川町	0	5	-	71.4%	5
庄内町	6	20	85.7%	71.4%	20
田川	59	149	122.9%	84.2%	145
酒田市	28	103	112.0%	109.6%	93
遊佐町	5	12	166.7%	35.3%	11
飽海	33	115	117.9%	89.8%	104
庄内地域	92	264	121.1%	86.6%	249

注:累計は平成27年1月~

